



1 明北小全校『プール下壁面に絵を描こう！』（ペンキで色塗り）10月3日（金）



選ばれた図案を5年生が線描

みんなでつくる明北小～全校お絵かき編～ <明北小6学年だより>

始まりは、「全校でお絵かきしてみたいな。できたら面白いだろうな。」そんな子どもの一言でした。それを聞いた仲間が「いいね」と児童会の企画に加え、承認されました。

また、ある日に「壁とかに絵を描いたら面白いよね。プールの外壁とか、殺風景だから絵を描いたりしたら楽しくなるよね。」とある先生の一言。「それ、いいね。」「面白そう」「やりたいね」と先生たち。「全校でお絵かきしてみたい」子どもと「プールの外壁に絵を描きたい」先生。2つの思いをコラボして、「全校でプールの外壁に絵を描く、というのはどうでしょう？」と校長先生に提案をしてみました。校長先生も「それは、面白い」とすぐに教育委員会に連絡を入れて、プールの外壁に絵を描くことを承諾してもらえました。そこからは、壁の清掃をしたり、下地を塗ったり、下絵を描いたり・・・そして、今日、「全校お絵かき」が実現しました。

全校の子どもたちがたてわり班ごとに、一生懸命に色を塗っている姿は、見ていてとても心が温くなりました。6年生は最初、自分が率先して塗るというより、下級生に塗らせてあげて、自分はペンキの入ったお皿を持ってあげたりしていました。そういう姿に最上級生らしさを感じられ、また1つ成長した子どもたちに出会えました。



みんなでつくる明北小～全校玉入れ編～

<明北小6学年だより>

高学年だって玉入れやりたい!そんな子どもたちの思いが形になりました。というより、子どもたちの「やりたい」に先生たちが乗っかって、みんなで形にしました、と言うほうが合っているのかも…。

実は、子どもたちは「全校綱引き」もやりたい、と思っていて、「自分たちの思いを先生たちに伝えて、承認してもらう」ことが最優先でした。本当は子どもたちが直接先生たちに伝える場を設けたかったのですが、それができなかったのもので、私の方で提案しました。すると、明北小の先生たちは「子どもたちのやりたいこと、やってみようよ」と提案を受け入れてくれました。しかし、「全校種目が増えると、その分、全校での練習時間を増やすことになるね」「低学年は、特に1年生は『全校リレー』だけでも覚えるのが大変だから、その上2つも全校種目があるのは心配」「どちらかだけではどうだろう…」という意見が出され、先生たちは「全校玉入れ」のみを増やす、という案で合意しました。

私が子どもたちに職員会での様子を話すと、子どもたちも、「確かに、1年生とか大変かも」「綱引きは、また別の機会にやるのもありだよ」と先生たちの案に合意。そこで、今年は「全校玉入れ」をすることに…。

すると、ちょっとした立ち話で、先生たちが「こういう風にしたら、面白そうだね」というアイデアや、「全校でやるなら玉の数を増やした方がいいよ」というアドバイスをしてくれました。

子どもたちは、やり方やルールを考え、練習内容を考え、全校に伝えました。(この部分がとても大変!誰もやったことがないので…)その中で「各チーム2つずつカゴを使う」ということが決まりました。それを職員会で伝えると、「じゃあ、竹を使って作る?」「新しいカゴを買う?」「明南小から借りる?」と考えてくれる先生たち。その結果「明南小から借りる」ことに決まりました。すると、すぐに教頭先生が明南小にお願いをしてくれて、庁務員の先生が運んできてくれました。明北小の先生たちは、一緒に考えて、すぐに動いてくれる先生たちです。

「これ、やりたい!」そんな思いを「言葉にする」「誰かに働きかける」「自分たちで考える」…そうすると、実現できる、そんなことを子どもたちが経験することで、幸せな大人になってほしいと思います。



運動会は10月18日(土)

3 明北小 『いたよ!!』(5年生児童が見つけてくれました)



ナナフシ



カナヘビ



ニホントカゲ